

学生たちの
「米国テロ事件」論争

生まれて初めて「戦争」を 自分の問題として考えた

「テロの定義は何か」「アメリカに非はないのか」……。
日本を、そして自分たちの価値観を揺るがす衝撃的な
事件に接し、学生たちが自らの言葉で語り始めた

p82-89 中央公論新社 2001.12.1発行

第一報に接して

橋爪 九月十一日に同時多発テロの一報を知って、最初にどんなことを考えました？

土谷 こんな嘘みたいなきっかけが現実起きてしまったら、世界の価値観が今までとはまったく変わってしまうのではないかと、そして、きっと大恐慌になるだろうと思いました。ひよっとすると第三次世界大戦が始まってしまっているのではないかと

も考えました。

アレズ 私はイランの学生ですが、最初はどうしてCNNで映画をやっているのだろうと思いました。BBCに替えても同じ映像が流れていて、ようやくこれは本当の出来事なのだとわかった。不思議だったのが、BBCが当日からアラブの国王などへのインタビューをはじめ、前もって用意していたかのような内容を次々と放映していたこと。それから、あの事件でイスラーム教徒全員が敵と見ら

●出席者

はしづめだいさぶろう
橋爪大三郎 (東京工業大学教授)

東京工業大学大学院価値システム専攻有志

アレズ・ファクレジャハニ (博士1年)

かねこけんすけ
金子賢典 (修士1年)

つちやまきこ
土谷真喜子 (修士1年)

ふちもとさとし
淵元 哲 (博士2年)

れてしまうのではないかという危険性を強く感じました。

金子 まずテレビであの映像を見たとき、アレズさん同様、リアリティーがない、ハリウッド映画のようだと思いました。

その一方で、おびただしい量の情報が私の中に入ってきた。現場で何が起きているのかについて、実際にそこにいる人々よりもおそらく私のほうが多くを知っていたと思います。リアリティーを持たない事実があふれかえったことに戸惑いを覚えたし、そのような状態において自分は何を為せばよいのか、意思決定をしていくことの難しさも感じました。

淵元 まず、直感的に思ったのは、犯人は非常に大胆な行動をとったなということ。トム・克蘭シーの小説にしか出てこないようなことを本当にやってしまった。そして、今回の事件は、前々から言われていたことですが、国家とそうでないものが対決する時代が来た、その象徴的な意味を持つと思いました。そして、その際に国家は非常に脆弱である、

ということが目に見えるかたちで提示された。もう一つ気になったのは、いままさに議論されていることですが、日本はどう行動すればよいのか、ということです。

橋爪 私は、講演で青森にいて、たまたまテレビをつけたらCNNの映像が飛び込んできた。アメリカに身内がいるので心配しました。そして、二年前ボストンに住んで感じたアメリカの強さと弱さを思い出しました。アメリカのシステムは、世界との格差の上に成り立っている。また、世界の中でも特別な価値観を持っている、それに自信がある。それが、このまま続いていくものなのか、危うさを感じたので、それがいま目前で起こったのかも感じないと感じました。

アレズ さきほど淵元さんの話を聞いていて、違和感を持ったのですが、一度に大勢の人を殺すことが「大胆」なのですか。これは、この事件を表すのに多くの人が使っている表現だと思うけれど、簡単に「大胆」という言葉は使ってほしく

ない。たとえばアフリカでは、一日に六千人以上の方がエイズで死んでいるのです。カメラの前で死ぬのが「大胆」で、見えないところで死ぬと「大胆でなくなる」のですか。

橋爪 それは「大胆」と言ってもいいのではないのかな。これだけ大量の人間を、予告なしに殺害したテロは、歴史上初めてだし、大胆なテロだと言えるでしょう。先例のない事件だから、世界中の人々が驚いたのは自然なことだと思う。アレズさんの言いたいことはわかるけれども。

アレズ 私は、テロリズムという言葉も、きちんと定義がされていないように思う。金子 テロリズムを学問的に定義することはできないと思う。テロリストというのは非常に大きなマイナスのレッテルで、そこには政治的な力関係が不可避的に入ってきてしまうから。

橋爪 定義はできませんよ。無差別に不特定の人を殺すことで、なんらかの効果を狙っている場合をテロというのです。アレズ では、湾岸戦争で十万人も殺さ



アレズ・ファクレジャハニ氏

れたのはどうなるのですか。一番アメリカ寄りの数字でも、民間人の犠牲者は五万人ともいわれています。これはテロではないのですか。

橋爪 それは戦争の、巻き添えの死者です。戦争で民間人をたまたま殺すのは、不法行為ではあるけれど、テロではない。金子 では、これは戦争でこれはテロと区別したとして、いったい何が違ってくるのですか。

アレズ 私には、すべてがテロにしか思えない。

橋爪 アメリカはもちろん、国際社会の共通理解として、テロの定義を共有し、テロを憎んでいる。そしてテロに対して戦おうというアメリカの行動を多くの国

が支持している。テロがいかによくないかということ、日本の学生があまり理解していないということがわかりました。

アメリカの独善主義

土谷 さきほど先生がアメリカの強さと弱さということをおっしゃいましたが、私はグローバルなアメリカとローカルなアメリカがあるのではないかと考えています。前者のリーダーがブッシュ大統領、後者の代表がジュリアーニ市長。私はジュリアーニ市長の足が地についたリーダーシップに魅力を感じていますが。金子 アメリカがグローバルズムで、イスラーム原理主義がローカルというならわかるけど、アメリカ国内で分けるのですか。

橋爪 その両方があると思います。アメリカ人は、必ずしも世界に関心を持ってはいない。世界中からアメリカに集まって、ローカルなコミュニティに落ち着き、幸せに暮らしたいと思っている。でも、アメリカ流の豊かな生活は、中東の

石油など世界の資源のいいところ取りで成り立っている、グローバルな世界戦略を持ったワシントンの政治家がいて、庶民は彼らの打ち出す「強いアメリカ」を支持せざるを得ない。アメリカの外側にいるローカルな人たちから見ると、それがアメリカの身勝手に見えるのです。

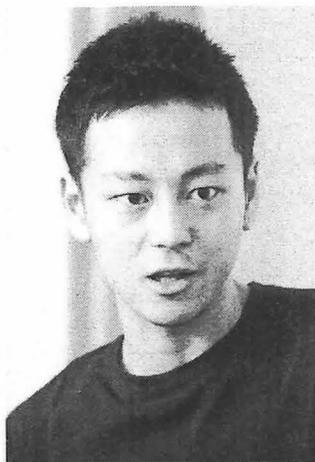
アレズ エシユロン（世界規模の通信傍受システム）で全世界のメールと電話を傍受しようとするなどの、すべてを自分たちが支配したいという欲望は、アメリカの強さですが、それは逆にアキレス腱にもなりうる。この事件を、アメリカの強さへの反発だと考えれば、アメリカが同じ姿勢のままでは、終わりのない戦いになるだろうと思います。

橋爪 この事件の背景や広がりについて、みなさんはどう思いますか？

淵元 アメリカは自分たちの正義に確信を持っていて、タリバンも自分たちの正義に確信を持っている。この両者の確信を話し合いで変えさせることは、かなり難しいのではないかと思います。

土谷 私は、三月末のアメリカの京都議定書からの離脱表明と今回の事件との関連が気になっています。三月上旬にタリバンがバーミヤンの仏像を破壊しました。そして国連はすでに一月から、ビンラーディンを保護していることを理由に、タリバン政権への制裁を強化していた。つまり、いずれ戦争が起こるだろう、そうなる軍需製品を増産することになり、C_O2の排出量を制限できなくなる、アメリカはそう見込んで、京都議定書から離脱していたのではないかと想像しました。橋爪 京都議定書からの離脱は、独善主義（ユニラタリズム）というアメリカの困った態度の一例だと思ふ。日本はEUと組んでアメリカを諫めるべきだった。それが長い目で見て、アメリカのためにもなったと思う。でも、日本の態度はあいまいでした。

現在のアメリカは矛盾しています。アメリカは基軸国なので、それを利用して国益追求に走る傾向がある。でも、そうすると反アメリカ運動が噴出してくるので、なるべくたくさん味の味が欲しい。



金子賢典氏

それには、アメリカの国益にこだわりすぎではないか。そこで悩んでいる。淵元 覇権国であるアメリカは他の国にわれわれの価値観に従うべきだ、と言ってきた。その理由は二つあって、一つは自分たちは力を持っているのだから従いなさいということ。もう一つは、アメリカの正義は世界で最も素晴らしいものだから、従うのは当然だということ。ところが、現実にはアメリカ一国だけではない。決められないことがたくさん出てきている。それなのに、なかなか独善的な行動を変えようとしなない。

アレズ ブッシュ大統領や、その下にいるライターたちがいかに非民主主義的かということ、彼の発言に注意して考え

てみたいと思います。初日に「これは戦争である」と言いました。まだ事件から数時間しか経ってなくて、たいして調べてもないのに、どうして断言できたのでしょうか。次に「あなたたちは、テロリストの味方か、われわれの味方か」という問いかけをしました。これでは、全然関係ない人たちや、アメリカやテロリストのことを知らない人に、どちらかを選べと強制し、対立させてしまうことになりま。さらに西部劇が好きなのか、「Dead or Alive」という言葉を使い、さらには「十字軍」という単語も使いました。あれは絶対に使ってはいけない言葉です。イスラーム教対キリスト教という図式を浮かび上がらせてしまう。そんな二者択一は非民主主義の象徴です。今度のことは、宗教的な問題ではありません。容疑者の多くは、非常に貧しい地域で育っていて、この戦争は富める人々と貧しい人々との戦いと言えるかもしれない。そこに宗教を持ちだすのはおかしい。宗教の対立ではないと思う。

日本は何をなすべきか？

橋爪 十月七日に空爆が始まりました。今後数年にわたると思われる長期戦が始まったわけですが、日本の行動も問われています。この点については？

淵元 一番怖いのは、法律の問題をあいまいにしたまま自衛隊を出すことですね。私自身、出すべきか出さざるべきか、どちらが良いのか判断しかねていますが、国が法律をいい加減に扱ったり、守らなかったりするのには危険だと思います。

アレズ 中東の人間の一人として言いたいのは、日本はもっと早い段階から、外交という観点でやれたことが、たくさんあったということです。日本が動かないから、二世紀以上中東の人々を裏切り、弾圧を繰り返したイギリスが動いている。橋爪 中東は元イギリス領だったから、ブレア首相が動くのはよくわかる。一方、日本にとって中東は石油を間に挟んだ、いわば間接的な関わりしか持たない地域です。もし、日本が仲裁役としてフリー



土谷真喜子氏

ハンドに動ければ、アレズさんが言うように、かなりのことができたかもしれない。でも残念ながら、日本の国益、安全保障政策を考えれば、動くのは得策でなかった。

アレズ どうして得策ではないのですか。橋爪 日本の周辺の安全保障のためには、本当なら、議論して憲法を改正するか、有事法制を整えて危機に対応できる体制を組むべきなのです。ところが今回テロが起き、素早い対応を迫られている。そこで、自衛隊と米軍が協調して行動できることを周囲の国に示しておくことが必要なのです。

アレズ それは自衛隊を含む防衛庁の問題で、外交面は独自で動いてもよかったです。人的な交流が網の目のように広がったのが二十世紀後半の世界なのだから、国家の窓口だけの対話に依存することはないのかもしれない。

橋爪 学者や民間の人間が、いろいろ個人的パイプを持つことは重要だと思います。アレズさんの提案も私は高く評価します。

戦争終結のシナリオはあるか

アレズ 私は、事件の前日にある仕事を頼まれていたのに、二日後、犯人がイスラーム教のアラブ人だということ、その仕事をなんとなく断られてしまいました。いままでは、アレズという一人の人間として見られていたのに、怖い集団の構成員として扱われた。私はイラン人で、アラブ人ではないのです。こんな差別的な状況が続くと、それまではそうでもなかったのに過激派にひかれていく人も出てくるかもしれない。

橋爪 それは大事な点です。テロリストがたまたまアラブ人だったというので、彼らに対する差別が起きれば、そのこと

のではないですか。

淵元 日本はアメリカのジュニア・パートナーとして行動することを第一に考えているから、自衛隊と外交が別々に行動するわけにはいかないでしょう。

アレズ わが家のことばかり考えて、テロ撲滅や世界平和のことなんか考えていないということですか。

淵元 いや、そうじゃない。わが家のことを考えながら、国際的なことも考えていると思いますよ。

土谷 先生、そうすると憲法を改正するのにどれくらい時間がかかるのですか。

橋爪 今回のテロ事件とアフガニスタンの戦争がどのように終了するか、日本の行動がどのようなものになり、それがイスラーム社会を含めた国際社会で評価されるか、その結果によると思う。

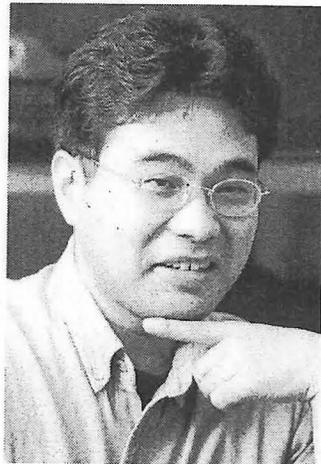
金子 湾岸戦争のときも憲法問題が論議されましたが、それ以降、憲法についての議論はなされていたのですか。

橋爪 国会の憲法調査会が、改正を前提に、地道に議論していると思います。

自体が、テロリズムを再生産してしまう。では、アメリカの爆撃についてはどう思いますか。

金子 戦争は避けられなかったと思う。いま最も重要なことは、この戦争を適切なかたちで早期に終わらせることではないですか。アメリカはそういう責任を負っています。日本やその他の国は、難民支援など多面的な外交努力をする責任を負っていると思う。

土谷 私も、一方的に戦争反対とは言いたくない。今回のアメリカの攻撃は、警



淵元 哲氏

アレズ でも、しつこいけど、外交は外交でやれたと思う。イギリスが中東に来て、昔の地主が来たみたいで嫌な気持ちになっていく人も当然多い。日本が外交をしていけない理由はないと思う。

橋爪 日本の外交の基軸は日米同盟ですが、それ以外の国々とも相応につき合っていると思う。イスラーム世界や中国のパワーを、日本の国民や政府もよく認識すべきなのはたしかですが、国内的な基盤もないのに突然行動できないでしょう。

アレズ 外交官に頼らなくてもいいじゃないですか。知識人、NGO、そういう人たちがやったらどうなんですか。

土谷 その方法がありますね。現実にはビジネスや文化、技術援助、観光などによ



橋爪大三郎氏

察行為と考えられないかと思つています。世の中で、やってはいけないことをやったら、制裁を受けるというルールは、最低限つくつていかなければならない。

ただ、アメリカが戦争を早く終わらせたいと思つているかどうか疑問です。アフガンの砂漠を爆弾などの軍事製品の産廃処理の場と考えているのではないだろうかという懸念があります。事件の根っこにある憎しみとか文化の違いは、爆弾ではなくならない。逆にこの戦争をうまく切り上げることができれば、アメリカは本当の意味で国際社会の信頼を得られると思う。

金子 アメリカは戦争を始めるにあたって、どこが終わりかということを確認に

定めていない。どこをもって戦争終結とするのか、すぐにでも国際的に合意を得るべきだと思ふ。

橋爪 アメリカの最低限の目標は、ビンラーディンの身柄の確保もしくは死亡の確認。次は、タリバン政権の排除。その先がはっきり決まっていけない。一方、民間人の犠牲はぜひ避けたいところ。予想以上に反米感情が高まっているので、アフガンから飛び火すると、收拾がつかなくなるおそれがある。

アレズ この戦争が終わったとしても、十年後には新しいテロリスト集団ができ、またアメリカが攻撃される可能性は十分あると思う。

土谷 パレスチナ問題やアフガン情勢を知つて思うのは、第二次大戦後、日本人はよく平気でアメリカとビジネスをして、今日に至つたな、ということ。よく我慢できたなと思つて。なぜ、憎しみを持たずに、ゲームのルールが変わつたと頭を切り替えられたのでしょうか。

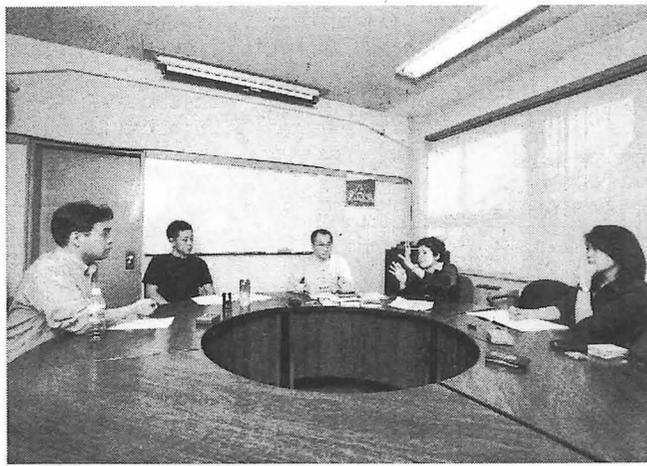
橋爪 たしかに日本人は世界が奇妙に思

も必ず大きなレベルや小さいレベルで危機は起こる。それをどうコントロールしていくのか、議論が必要だ。

土谷 テレビを見ていて感じるのは、時間を埋めるためなのか、無理な企画や余計なおしゃべりが多くて、何が大事なことなのか分からなくなっていくことの怖さです。

アレズ 私もテレビ局の仕事を手伝つていて思うのは、視聴者にサービスすぎだということ。始終、「何か面白い映像ない？」と言っている。知識人がメディアをつくつていっているのではなく、彼らは引つ張られて出ているだけ。イスラームのことをあまり知らずに番組を作つてしまふのは、とても危なっかしいと思う。

淵元 もちろん日本のメディアは商業主義だけど、イスラームの知識を十分に持った人がいないということについては、慈愛をもって教えてほしいなあ(笑)。グローバリゼーションが進むと、相互理解も進むけれど、今回のような危機をもたらすこともある。それを防ぐためにも



熱を帯びた議論が2時間近く続いた(撮影・小池 守)

今後のアレズさんの役割は大きいですよ。橋爪 私が一番問題だと思うのは、日本にきちんとした専門的な知識を踏まえてレベルの高い議論をする場所がないことです。テレビはもちろん、国会にも、月刊誌や論壇にも、どこにもない。専門的な知識を持つている人は、実践的な関心がない場合が多い。政府の役に立つように、自分の知識を提供することができ

うほど、敗戦を受け入れることができた。けど、それは日本人が宗教を持たないせいだから例外的なのであって、アフガニスタンなどのイスラーム諸国には難しい。アフガニスタンが、この戦争で誇りを傷つけられるかたちで負けたとすると、その恨みを晴らすとする人が大量に出てきても不思議ではない。

高度な議論をする場所

金子 こういう事件があると危機管理論が出ますが、どうして軍事・警察面ばかりが目されるのでしょうか。橋爪先生によると、危機管理というのは何か問題が起こる前になす先取りの意思決定のストックである、ということですね。起り得る多様な問題に対処するには、軍事・警察面だけでは十分でない。それ以外の危機管理について、マスメディアはあまり議論していません。

淵元 私も危機管理論といったときに、幅広い議論がなされていないと思います。誰だって、安全なところに住みたい。で

ないし、その仕組みもない。これが日本の弱点じゃないかと思う。アメリカには専門家が知識を持ち寄つて、それを組み立て、政策に反映させようという努力がたくさんある。ここが大きな違いだと思います。

みなさんに期待したいのは、大学院で専門知識を身につけたら、ぜひ実践的な関心をもって、一般の人々や政府に訴えていく役割を担ってもらいたいということです。

討論を終えて

どんな世代の人びとにも、忘れることのできない「記憶のなかのランドマーク」のような共通体験がある。あるいは、敗戦。あるいは、六〇年安保。若い学生諸君は今回の同時多発テロを、そうした鮮烈な出来事として受け止めているのだと感じた。

CNNの映しだす非現実的な映像が、現実のものだとわかる。そのとき、心のなかにぽっかりと空く大きな穴が、テロである。そこで誰もが、これを意味づけようとし、語ろうとする。学生諸君のなかにも、そうした多くの言葉が芽